

広報

おおだて

1990年11月16日号(No.521)

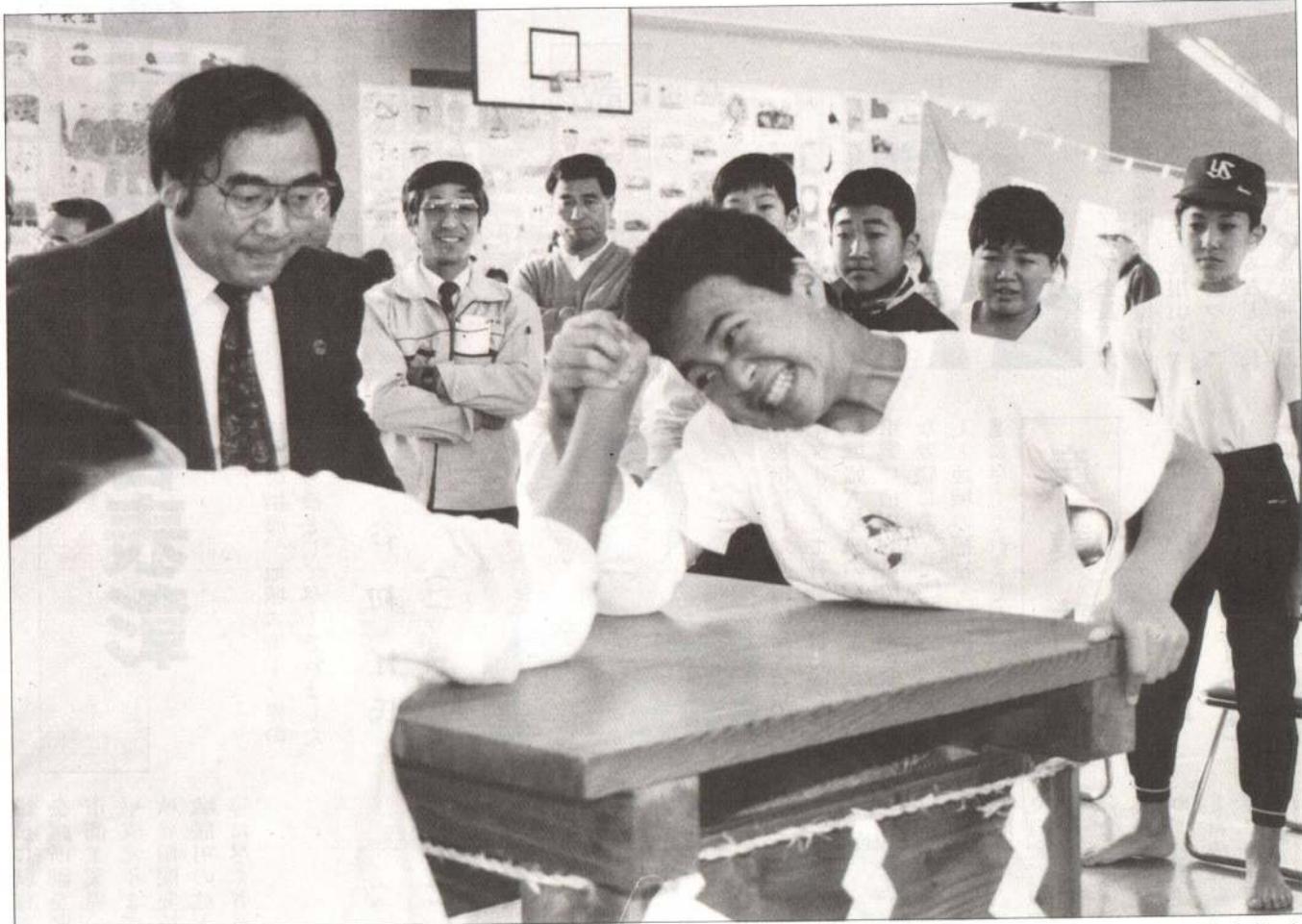
■編集と発行

大館市役所総務部企画調整課 ☎49-3111

—「環境浄化」宣言都市—

10月	件数19件(228)
傷者	24人(270)
死者	1人(7)
火災	件数0件(21)
救急	回数82回(840)
()内は	1月からの累計

市の木・秋田杉 市の花・キク



負けてなるものか

郷土品まつり期間中の11月3日、城西体育館で「ちびっこ腕相撲大会」が行われました。市内8地区から力自慢のちびっこたちが集まり、熱戦を開催。審判の合図とともに、渾身の力を振り絞り腕っぷしの強さを競い合いました。激戦の末下川沿地区がみごと優勝しました。

わがまちの情報案内

市では2台の電話を使って、各施設などで行われる1週間の行事や情報をお知らせするテレホンサービスを実施しています。どうぞご利用ください。

◇文化・体育情報は

☎43-2211

◇市の各種行事は

☎43-3300

「三年前、ここに引っ越ししてきたのを機会に花を育てるようになりました。このベゴニアは、今年の春に主人が買ってきたものなんです。初めて迎える冬をうまく乗り切れるか、今から心配です。」

(有浦1丁目)

松居かや子さん



ベゴニア

“花の好きな方を募集”——広報「花歳時記」に登場していただく花の好きな方を募集しています。

自薦、他薦を問いません。どうぞ広報統計係(49-3111内線268)へお知らせください。

讃える！

一年度市政功労者表彰

「平成二年度市政功労者表彰式」が、十月三十一日市民文化会館で行われました。

今年度の功労者は、自治、教育などの六部門から、長年にわたって市の発展に貢献された個人十二人と一団体が選ばれ、市長が表彰状と記念品を贈つて各氏、団体の功績を讃えました。

自治功労

☆深見多喜三郎氏

(東台一丁目・64歳)



教育功労

☆泉竹之助氏

(赤館町・72歳)



産業功労

☆島内富一氏

(大町・68歳)

昭和四十七年から大館市公平委員会委員長、さらに昭和五十五年から大館市くらしの法律相談専門相談員として現在に至るまで、卓越した識見をもつて問題解決などに尽力し、人権思想の普及と民生の安定に尽くされ

大館市スキークラブ会長、大館市体育協会顧問、秋田県スキーリーとして社会教育に関与し、地域婦人学級の開設など公民館事業に積極的に協力。また多様な要職にあって、婦人の地位向上と地域の福祉・生活文化の増進に尽くされました。

昭和四十年に大館商工会議所

昭和十六年建築大工として独立自営。以来、大館建設技能組合長、大館北鹿建設技能組合連合会会長、大館北鹿職業訓練協会理事などを長年にわたり務め、若手建設技能者の資質向上と育成に熱意を傾注し、市建設業界の発展向上に尽くされました。

昭和四十年に大館商工会議所

日本農業はどうなるか。米をめぐるガットのウルグアイ・ラウンドを来月に控え、正に正念場を迎えました。米国の圧力でと受け止められていますが、米国には日本人に向く米はほとんどなかつたし、残留農薬などを含め食品衛生上無防備の実情でした。また、米が国際価格競争にさらされると、日本の米は一日ももたないことは明確です。そのとき、日本が米作りをやめてしまつたら保水などの国土保全はできるでしょうか。単なる農業の問題、経済の問題だけではありません。日本人の生命の問題が根底にあるのですから、もっともつと国論とななければなりません。

にもかかわらず、外圧と単なる価格だけで結論づけさせてはなりません。暴挙は絶対に許してはなりません。自分だけではなく子孫のためにも。

正念場

日本の農業はどうなるか。米をめぐるガットのウルグアイ・ラウンドを来月に控え、正に正念場を迎えました。米国の圧力でと受け止められていますが、米国には日本人に向く米はほとんどなかつたし、残留農薬などを含め食品衛生上無防備の実情でした。また、米が国際価格競争にさらされると、日本の米は一日ももたないことは明確です。そのとき、日本が米作りをやめてしまつたら保水などの国土保全はできるでしょうか。単なる農業の問題、経済の問題だけではありません。日本人の生命の問題が根底にあるのですから、もっともつと国論とななければなりません。

にもかかわらず、外圧と単なる価格だけで結論づけさせてはなりません。暴挙は絶対に許してはなりません。自分だけではなく子孫のためにも。

議員に就任。以来、平成元年同市商工業界の発展に尽力。また平成元年までの十年間、大館北秋雇用開発協会会长を務め、地城雇用の拡大、雇用条件の改善等に尽力されました。

市長メモ



No.42

鳥山信彦



☆虹 川 吉 美 氏

(樋 崎・77歳)



☆石田多治右衛門 氏

(下代野・64歳)



納税功劳

図るなど、市農業の振興に尽くされました。

☆鈴 木 覚 氏

(軽井沢・64歳)

統計功劳



☆成 田 正 雄 氏

(長 走・66歳)

一般功劳



☆新 井 康 夫 氏

(赤館町・64歳)

昭和二十八年に真中村農協理事に就任。以来、大館市農協合併を促進し、自らも理事、代表監事などとして農業経営の安定と振興に熱意を傾注。また昭和四十三年には真中土地改良区を設立し、ほ場整備等を積極的に図りました。

昭和三十二年に下代野第三納稅貯蓄組合を設立以来、現在に至るまで同組合長を務め、昭和四八年から平成元年までの十七年間、一〇〇パーセントの取納率を達成するなど、納稅思想と貯蓄意識の高揚普及に尽力されました。

昭和四十一年に大館市交通指導隊員に就任。以来、同指導隊副隊長、大館地区交通安全協会矢立支部副支部長を務め、交通安全対策、交通事故防止対策を積極的に推進し、交通事故のない明るい地域づくりと交通安全思想の啓蒙普及に尽力されました。

大館市老人クラブ連合会の結成に参画。老人文化祭の創設、ゲートボールの普及等、長年にわたり同連合会会长として、高齢者の啓蒙普及に尽力されました。



☆菅 原 保 氏

(相染沢中岱・75歳)

☆神山老人クラブ
(会長 浅利兵造氏・花岡)

市の資源ごみ回収運動発足時の昭和五十六年度から現在に至るまで、総重量七万五、三三一キログラムにも及ぶ資源ごみ回収を実施。市からの奨励金は、町内の公益事業等に寄付するなど、ごみの減量化と再生利用思想の普及に尽力されました。

各種統計調査に積極的に携わるほか、大館市統計協議会役員を務めるなど、統計思想の普及向上と市統計業務の推進に尽力されました。

☆伊 藤 一 男 氏

(高 村・63歳)



の健康増進と学習意識の向上に尽力。また大館市芸術文化連盟の法人化を図るなど、地域文化の向上にも尽力されました。

ドクター通信

虚血性心疾患

市立総合病院第一内科副部長 神 裕

(19)

心臓は、私たちが生き続けている間、ひとときも休まず身体に血液を送り続けてくれます。この大切な心臓の働きを損なう病気のひとつに虚血性心疾患があります。現代病の象徴とも言えるこの疾患は、いったいどんな病気なのでしょうか。

動脈硬化と

虚血性心疾患

心臓は筋肉でできています。酸素と栄養分が補給されないと元気に働くことができません。特にたくさんのが需要としますから、専用の血管が心臓を包み込むように走っています。この大切な血管は、王冠のように心臓を囲んでいるので、冠動脈と呼ばれています。

ここで血管を水道管に例えてみましょう。水道管は、流れる水の速度、性質、管の状態によって水あかやさびが付着して細くなり、水の出が悪くなります。これと同じように、ドロドロしたコレステロールが血管の壁に付着した状態を動脈硬化と言います。

無痛性虚血性心疾患

虚血性心疾患は、狭心症や心

ます。
この動脈硬化が冠動脈に起きたらどうでしょう。心臓は、血液供給が足りなくなつて悲鳴をあげてしまいます。これが虚血性心疾患なのです。

狭心症と心筋梗塞

虚血性心疾患には、どんな病気や症状があるのでしょうか。代表されるものは狭心症と心筋梗塞です。狭心症は、冠動脈からの血液供給が不足したときの心臓からのSOS信号で、胸がせばめられるような痛みが発生します。また心筋梗塞は、冠動脈がついに詰まってしまい、心臓の筋肉の一部が酸素不足で死んでしまう状態のことを言い、このときの痛みは、狭心症よりも強く、冷汗をかいて倒れてしまいます。

どちらも油断ならない病気で、どちらも命を失う可能性があります。

この段階で油断をしていると、病気が進行し悪化することがありますから、早いうちに専門医を訪れて、精密検査を受け治療について相談を受けるようにしましょう。

虚血性心疾患の注意点 (リスク・ファクター)

このような心臓病を発生、促進させる危険要素をリスク・ファクターといいます。これは、遺伝的体質や肥満、高血圧、高脂血症、糖尿病、喫煙、ストレスなどがあります。リスク・ファクターのチェックと管理には専門医があたりますが、なかには自分自身でもある程度コントロールできるものもあります。肥満や喫煙を避け、ストレスの解消に心がけることは、このきびしい現代社会から心臓を守るために自衛手段となりましょう。

筋梗塞のように胸痛が現れてからでなければわからないのでしょうか。実は、胸痛が現れる前段階であっても、心電図検査など冠動脈硬化を知ることがでできるのです。最近の成人病検診では、検査項目として心電図検査が入っている場合が多いため、心電図の変化から自覚症状がないこともあります。虚血性心臓病を指摘されることがあります。これが無痛性虚血性心疾患と言われるものです。

この段階で油断をしていると、

病気が進行し悪化することがありますから、早いうちに専門医を訪れて、精密検査を受け治療について相談を受けるようにしましょう。

○所在・大館市花岡町字繫沢556番地
○所有者・繫沢部落
○由来・特色
この神社は、繫沢集落西側の小高い丘の中腹に虚空蔵菩薩を安置していた小さなお堂を、大国主大神のご加護も併せて受けられるようになると嘉永六年(一八五三)にこの丘の上に建立。大国主神社と名付けられ、地区の人たちを見守るよう鎮座しています。

同神社の老杉は、神社創建時よりも古い、虚空蔵菩薩のお堂が建てられたころの植栽と思われます。鳥居から社殿に至る石段の両側には、八本の杉の木があります。中でも鳥居に最も近い木は、推定樹齢約四百年、樹高約三十尺、胸高周囲約五尺で、神木と称するにふさわしい風格を備えています。

○ひとメモ

この神社のご神体の一つである虚空蔵菩薩像は、昭和五十九年に市の有形文化財に指定されています。

室町時代の上方の作といわれ、青銅製で高さ三十一・五寸の立像で鎌倉様式。尊顔は觀音様式で、両手首は後に補修されています。台座は元禄六年(一六九三)の作で、仙台あたりで作成されたものとみられます。



守りたい。残したい。

並木・名園・名木

⑧ 大国主神社の杉

先人の心が生きてる郷土品 第11回大館市郷土品まつり



▲市民体育館で行われた商工展には、連日大勢の人方が訪れ、地元の产品などをじっくりと見学していました。



▶農協まつりで行われたとろろめし早喰い競争。新米あきたこまちに大館特産の山の芋という最高のとろろめしでしたが、味は分かつたかな。最



◀市民体育館では、アイドルタレントのコンサートも行われ、商工展を盛り上げました。

“先人の心が生きてる郷土品”をテーマに、11月2日から4日までの3日間、第11回大館市郷土品まつりが開催されました。会場となった市民体育館や城西体育館などには、高度な技術を駆使した製品や新しい感覚をとり入れた商品、品質のよい農産物、子供たちの図画や書道などが展示され、訪れた人たちの感心を集めていました。



▶市場まつりでは、新鮮な魚貝類や野菜が安く買えるとあって、朝早くから大勢の市民でにぎわいました。



◀力作がズラリ展示された婦人会館まつり。訪れた人々は、作品の素晴らしさにびっくり。

雇用保険失業給付金の 不正受給はやめて

雇用保険の失業給付金は、失業した人が生活を心配しないで新しい職探しに専念し、一日も早く再就職できるよう支給されるものです。この財源は、労働者と事業主が納めた保険料と皆さんのが納めた貴重な税金で賄われています。

ところが、この貴重な財源から、再就職をしたりアルバイトをしたりしたにもかかわらず、偽りの申告をして失業給付金を受ける「不正受給」があとを絶ちません。

雇用保険制度を健全に運営するため、失業給付金を受けている人は、働いたときや収入があったときなどには、その事実を正しく申告しましょう。

かんえい公庫

融資のご案内

- 環境衛生金融公庫では、飲食、理容、美容、旅館、クリニックなどのお店を経営している人、低利で長期返済の資金を融資しています。お店の新・増・改築や器具・備品の購入などの
- 電話番号: 42-52531
- 問い合わせ: 大館公共職業安定所
- （決勝）○家庭バレー・ボール大会
- （俳句・川柳の合評会）○人形劇・大型紙芝居の発表
- 美術工芸展・野菜・果物などの即売コーナー
- 食堂

資金としてご利用ください。
申し込み及び問い合わせ
環境衛生金融公庫業務部
電話番号: 03-5825416

秋田県最低賃金が 改正されました

県内で働くすべての労働者に適用する「秋田県最低賃金」が、次のとおり改正され、十月十二日から適用されています。

最低賃金: 1日 3,738円
1時間 468円
詳しく述べは、労働基準監督署（42-4033）または秋田労働基準局賃金課（40188-626681）までどうぞ。

おいでください 広域交流センターまつり

（と
き
とこ
ろ）

12月1日(土) 13時～17時
2日(日) 9時～16時30分

大館広域交流センター
（プログラム）

1日○家庭バレー・ボール大会

（決勝）○芸能発表○短歌
俳句・川柳の合評会○人形劇・大型紙芝居の発表

○美術工芸展・野菜・果物などの即売コーナー

○食堂

県民手帳発売中

1991年用「秋田県民手帳」が発行されました。ご希望の人は、市企画調整課（内線268）か各出張所で直接お求めください。

価格 350円

※数に限りがありますので、お早めにどうぞ。

幼稚園・保育所・児童館 園児を募集します

市立幼稚園及び保育所・児童館、私立幼稚園では、平成三年度の園児を次のとおり募集します。

▽市立幼稚園

（受付期間：12月1日～21日）
大館幼稚園 42-0690
桂城幼稚園 42-1206
4歳児 120人
5歳児 若干名

▽私立幼稚園

（受け付け：12月31日まで）
天下町児童館 48-3308
松峰児童館 48-4992
3歳児 20人
4歳児 50人
5歳児 若干名

▽市立幼稚園

（受付期間：12月1日～22日）
大館カトリック幼稚園 42-1262
4歳児 20人
5歳児 若干名
3歳児 42-1262
4歳児 50人
5歳児 若干名

▽市立幼稚園

（受付期間：12月1日～22日）
白沢幼稚園 46-1339
花岡幼稚園 46-1206
4歳児 80人
5歳児 若干名
4歳児 40人
5歳児 若干名

▽市立幼稚園

（受付期間：12月1日～22日）
葛原保育所 46-1339
二井田保育所 49-5471
真中保育所 49-6953
下川沿保育所 49-6263
柏田保育所 49-6283
葛原保育所 49-5471
柏田保育所 49-6953
大館八幡幼稚園 49-1206
3歳児 20人
4歳児 60人
5歳児 若干名

▽市立幼稚園

（受付期間：12月1日～22日）
大館神明幼稚園 42-1455
3歳児 20人
4歳児 50人
5歳児 若干名

▽市立幼稚園

（受付期間：12月1日～22日）
向陽幼稚園 42-1455
3歳児 20人
4歳児 60人
5歳児 若干名

▽市立幼稚園

（受付期間：12月1日～22日）
大館南ヶ丘幼稚園 42-1455
3歳児 20人
4歳児 60人
5歳児 若干名

▽市立幼稚園

（受付期間：12月1日～22日）
長木保育所 42-1455
矢立保育所 42-1455
柏田保育所 42-1455
雪沢保育所 42-1455
大滝児童館 42-1455
山館児童館 42-1455



大館の歴史散歩

戊辰戰跡を
歩く⑧

葉隱の里からの援兵

八月二十六日正午 馬渡作次
郎、佐賀良（相良）三郎、山田
平蔵、太田哲之助、石山寛之進
の五人の斥候が荷上場に到着し、
佐竹大和に会見、先発の目的を
告げるとともに協力を求めた。

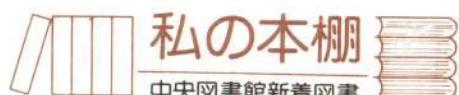
十郎についての詳細は不明である。

平蔵、太田哲之助、石山寛之進の五人の斥候が荷上場に到着し、佐竹大和に会見、先発の目的を告げるとともに協力を求めた。

馬渡等は、岸慎三、青柳紋治を案内人にして荷上場から本道、各間道をくまなく巡回、検分を行つた。斥候到着より先に佐賀藩士生野小十郎が田村乾太左衛門の命により到着、佐賀藩応援隊の出発を告げ、中田太郎蔵と

八月八日、北部戦線応援中の核となる佐賀藩支藩小城藩応援隊総勢七百十三人（大隊長田尻宮内、監軍藤本恒作、組頭今泉惣左衛門、長崎要人等）が甲子丸ほか一船に分乗して伊万里濱久原から出発した。同月二十二日に船川港外に碇泊し、翌二十三日に上陸、二十四日に土崎湊に本陣を構えた。

に二十八日朝まで荷上場へ到着」を厳命し、三十人を率いて総督府參謀大山格之助との会見のため早駕籠を用い、久保田へ急行した。大山と会見の後に九条總督に謁見し、久保田藩鈴木三郎太郎とともに荷上場へ向かった。途中土崎湊の小城藩本陣へ立ち寄り、大隊長田尻、監軍藤本に面会し、総督府からの受命を告げるとともに上級官職の兩人に対し、「総督府から北部戦線總隊長の命を受け指揮することとなつた旨を告げ、下役である自分の指揮を受けるか否か」



『僕は森へ家出します』

荒川じんpei 著 岩波書店

都市生活の利便さに慣れ親しんだ著者が、ある日、森に住むことを決意する。森に建設した山小屋をベースキャンプに森林散策など自然を満喫する方法を教えてくれる。



◇過ぎゆく日暦（松本清張） ◇ロー
一般書 ◇トレックの処刑台（中川裕朗） ◇跳
躍台（小川国夫） ◇魔都上海オリエンタル・ト
パーズ（山崎洋子） ◇砂のアラベスク（泡坂妻
夫） ◇闇から覗く顔（高橋克彦） ◇カリオペイ
アの指（仲谷和也） ◇ドイツ民主共和国（本多
勝一） ◇医者の目に涙（石川恭三） ほか

◇シマウマだけどウサギ(本信公久)
児童書 ◇山下泰裕の楽しい柔道(山下泰裕)
◇世界人権宣言(谷川俊太郎) ◇こどもたちの
オーケストラ入門(矢吹申彦) ほか

10月のテーマ関連図書コーナー

『環境保護』

親子読み聞か社会

毎月第1金曜日 午後3時30分から

● 由典図書館の休館日

11月18日 22日 23日 12月16日

11月18日、22日、23日、12月10日

到着後、大和に総督府からの命令を伝えるとともに、大館の諸隊長と馬渡等の斥候から報告を受け、茂木隊と小野寺組に米内沢方面の警備を命令、田村は前線視察へ向かった。正午ごろに前線視察から戻った田村は、諸隊長を集め「此地の形態を観るに秋田への咽喉とも謂える要害なり、敵落し此地を占領しなば城下に迫ること易々たらん。我之を得ば敵最早前進の念を断

「繫戦」の開始である。南部軍攻撃の第一報が田村に届いたのは午後一時ごろであった。田村にとって、未知の相手南部軍を知るための絶好の機会であった。この戦いは、北部戦線初陣の田村の采配に軍配が上がり、南部軍は本道、間道勢とも前山、坊沢へ退却した。

二十九日の総攻撃は午前六時に開始され、勢いに乗った大館佐賀連合軍は、苦戦をしながらも勝利を得て前山、坊沢と進撃し、午後二時には綴子に本陣を構えた。対する南部軍は、川口まで退却し本陣を構え、岩瀬、板沢、中仕田の警備についた。これより、九月二日の岩瀬合戦まで両軍の兵にとつてつかの間の休憩となつた。(参考文献「佐賀藩戊辰戦史」)

を問い、「平時と異り戦時の事、指揮に従う」との返答を得、兩人に対し、「土崎より荷上場まで二十里二十八日迄に必ず到着すべし」との初の命令を行つた。田村が鈴木と手兵を伴い荷上場に到着したのは二十七日早朝であつた。

たん。勝敗只此の山に在り」として、二十八日には佐賀藩、小城藩の応援兵が到着することを告げた。

が一堂に会した軍議の結果、明二十九日午前四時を期して本道（前山から坊沢へ）、米内沢口（茂木隊小野寺組と合流、七日市から鷹巣）、大沢口（大沢から綴子へ出て敵の背後へ）の三方から南部軍への総攻撃の議を決しました。